

特集 I

平成28年度 JA全農福島

輸出の取り組みについて

県産米の輸出について

～福島県初～

福島産米「天のつぶ」がイギリスへ輸出！



▲記者会見の様子



▲満山会長との会談の様子

となりります。イギリスでの福島産農畜産物のPR活動は、ワールド福島県人会（ロンドン）の中心となり、特に3年前からは福島県の復興支援のため「JAPAN祭」（ロンドン開催）にて、福島産農畜産物の安心・安全はもちろん美味しさもPRしていただいております。

JA五連大橋信夫会長は「輸出拡大を実現しよう」と取り組み始めた矢先の天のつぶのイギリス輸出の吉報に、大変嬉しく思う。今後とも

5月27日（金）に、JA全農福島にて福島県産米「天のつぶ」のイギリス輸出記者会見が行われました。JA全農は、欧州向け農畜産物の販売を約7年前からイギリスの「TKトレーディング社」と開始しております。今回は、このTKトレーディング社と福島県産米「天のつぶ」1.9トン（5kg×380袋）の商談がまとまり、7月下旬頃から販売が開始されることとなりました。福島産米がヨーロッパ圏に輸出されるのは、今回が初め

ギリス輸出の吉報に、大変嬉しく思う。今後ともJAグループ福島として輸出に積極的に取り組みたい」と笑顔を浮かべました。猪股孝二県本部長からは、「今年のJAPAN祭では、米を含め果物など福島県の農畜産物のPRも引き続きお願いしたい」と要望し、「福島県の果物も美味しいですね。梨やぶどうも良いですね」と満山会長も答えていました。今回の輸出に続き、福島県産米「天のつぶ」4.

9トン（5kg×986袋）の追加輸出も決定いたしました。JA全農福島では、平成30年度には年間30トンの輸出を計画しており、更なる県産米の輸出拡大に向けて取り組んで参ります。

【青果物の輸出について】

果実については、平成27年度はマレーシア・タイなどへ福島県産も・りんごを中心に約19トンの輸出をしました。平成28年度は前年度実績のあるマレーシア・タイ・シンガポールなどのアジア諸国を中心に輸出を計画し、福島県産も40トン、りんごや柿など15トンの輸出を予定しています。また、野菜については、平成27年度はマレーシア・シンガポールへねぎ・しいたけ・ブロッコリーを計約6トン輸出いたしました。平成28年度もアジア諸国を中心に、ねぎ・ブロッコリー・きゅうりなど約15トンの輸出を計画しています。

【畜産物の輸出について】

牛肉については、平成27年度にはアメリカへ牛肉を約1トン輸出しました。平成28年度以降も引き続き輸出へ取り組んで参ります。

特集 II

平成28年度「愛情福島」夏秋青果物販売対策会議 開催される！

～いよいよ夏本番！関係者一丸となり福島県産青果物の有利販売を実現しよう！！～

平成28年6月7日（火）郡山市「ホテルハマツ」にて、愛情福島 夏秋青果物販売対策会議を開催しました。昨年に引き続き「JA全農福島 果実・野菜振興委員会」の委員に就任された生産者の方々に参集いただき、生産者・JA・関係市場・県・全農福島が一同に

介し、今年度の生産出荷状況や今後の見通し、市場からの要望等の情報を共有、今年度の対策について確認する会議として開催となり、総勢112名が出席されました。会議の冒頭、振興委員会を代表し、小川野菜振興委員長（JA夢みなみ）より、震災以降の風評被害抹消に日夜努力されている市場の皆様への御礼の言葉、また生産者も含めて福島県が一丸となって困難に立ち向かっていくこと、今年度の販売に対する決意を力強く挨拶されました。

以降の風評被害抹消に日夜努力されている市場の皆様への御礼の言葉、また生産者も含めて福島県が一丸となって困難に立ち向かっていくこと、今年度の販売に対する決意を力強く挨拶されました。

会議は前段に全体会議、後半に果実・野菜部門に分かれての分科会形式が進められました。

全体会議においては、福島県により今

年度の緊急時環境放射線モニタリング体制について、全農福島半澤正志園芸部長からは28年度園芸事業方針について、それぞれ説明を行いました。また、28年度の消費宣伝活動について、福島県とタッグを組んだ量販店における消費者向けPRを実施する旨の報告を行いました。

後半の分科会では、今年度の生育・作柄情勢についてJAおよび振興委員の方々から詳細な説明をいただきました。また、代表市場からは産地への要望事項についてのご意見を頂き、その後振興委員会の方々からも質問が出るなど、活発な意見交換を行いました。

今年もいよいよ夏秋青果物の本番を間もなく迎えるようしております。本日の会議は、福島県産夏秋青果物の有利販売実現のため、関係者がそれぞれの立場で最善を尽くすことを確認できた有意義な会議であったと思っております。当県本部といたしましても、生産者手取りの最大化に全力で臨む所存でありますので、関係各位の今後におけるご支援・ご協力をお願いいたします。



▲全体会で消費宣伝の内容を説明



▲全体会で県農林水産部より検査体制を説明